



「女性ならではの視点を仕事に生かしたい」と福本さん



オフィスにはインテリアの洋書がずらり

株式会社ディセノ  
町田市能ヶ谷4-40-1  
☎042-708-8874  
<https://diseno-inte.com>

## 建築に生かす女性目線

実家の家業は建設会社。事務所は自宅と兼用で、幼少の頃から電話では会社名を名乗るよう教えられ、庭の作業場にはいつも大工が入り出している。株式会社ディセノ代表取締役の福本圭子さん(45)は、そんな環境で生まれ育った。

自身も当然のように建設業を志すようになり、大学では建築学部へ入学。卒業後は建築金物メーカーなどで経験を積んだ後、忙しかった家業を手伝っていた。しかし出産後、育児ノイローゼに…。これが人生を見つめる契機となり、独立を決意した。

「自分にできることは何だろう」。建築士の資格を有し、工事現場での実績も十分。だが、独立となると進むべき方向性に迷いもあった。

そこで出会ったのが、町田新産業創造センター。「私が社会でどう役立てるのか。創業に向けてさまざまなビジョンを示して頂き、自分の棚卸しができたんです」。行きついた答えは、女性ならではの視点。「水廻りの収納や家事動線など同性だから理解できることがある」。女性が少ない業界で、そんなきめ細かい対応が好評だ。



作業服に着替え、現場にも出る



セミナーで経営を学び、開業の夢を叶えた小川さん



ペットケアターフ  
町田市小山町1032  
☎042-860-1020  
午前10時～午後6時  
(休火曜・第3月曜(祝日の場合振替))  
<https://www.pet-care-turf.com>

洗練された内装デザイン

町田街道に面した住宅街に建つ小山町の「ペットケアターフ」。そのおしゃれなインテリアは人間の美容室と見まがうほどだが、ここは犬専用のトリミングサロンだ。  
オーナーの小川瞳さん(30)は大阪のトリマー専門学校を卒業後、「やるからには、技術レベルが高い東京で腕を試したい」と上京。麻布や八王子のトリミングサロンで6年間経験を積み、今年4月に念願の独立開業を果たした。  
自分の店をもつことは学生時代からの夢。自宅にも近い好条件の店舗物件は早々に見つけることができたものの、いざ創業

## 同志と学んだ経営のいろは

となると何から手をつければよいのか分からなかったという。  
思い悩んだ末、「まずは経営について勉強しよう」と、ネットで知った町田新産業創造センターが主催するセミナーに参加。2カ月にわたり、財務分析や原価計算、キャンペーンの組み立て方など経営のいろはを学んだ小川さんは、「同じ志をもつ受講生たちとの交流も心強かった」と振り返る。  
開業から数カ月。常連客も徐々に増えるなど、滑り出しは上々だ。



店の看板犬「ターフちゃん」



自ら工具を持って改造したという電動カート

## わたしたち、町田

「IT業界でシステムエンジニア(SE)の寿命は35歳定年なんて言われますが、彼らが長く活躍できる会社を作れたかった」システム会社に勤めていた西利也さん(48)は2016年、町田創業プロジェクトの支援を受け、株式会社ジップシステムを設立。無料の経営コンサルを入口とし、ビジネス課題を解決するシステムをSEが楽しみながら提案するスタイルが好評だ。

「町田市は創業支援を受けた恩義があり、可能性がある面白いまち」と話し、まちづくり



鶴川団地を前に西さんとカート

株式会社ZipSystem  
<http://www.zipsystem.co.jp>  
株式会社モビリティワークス  
<http://www.mobilityworks.co.jp>  
☎050-3557-7734  
町田市中町1-4-2町田新産業創造センター



西利也さん

## 国内初 電動カートで送迎

にも関心を寄せる。社会福祉法人が高齢世帯の買い物支援のため、電動カートで鶴川団地を走る構想に魅力を感じ、協力を買って出た。輸入車両を公道で走れる「グリーンスローモビリティ」の仕様で改造、有償旅客運送の認可をとりつけて昨年、国内初となる送迎サービスを開始した。  
町田新産業創造センター内にオフィスを構え、昨年は、町田商工会議所主催の「創業スクール」にパネリストとして登壇した。「起業は分らないことだらけで、先輩の経営者によく相談した。苦難を乗り越えた話は貴重。次は自分がお役に立ちたい」と話している。

## で創業しました

「うちの商品は、派手さを追わず安くもない。おまけに店の場所もわかりづらい」。原町田の洋菓子店「パティスリー アンカド」を営むオーナーの山根悠樹さん(38)は苦笑いを浮かべる。

15歳から洋菓子を学び、大手ホテルなどでパティシエとして勤務。国内最大の洋菓子コンクールで銀賞を受賞するなど腕を磨き、30歳を過ぎてから独立を意識し始めた。紹介された幾つかの菓子店で修行する中で、閉店に立ち合うこともあった。「美味しく値段が安くても事業は失敗。経営の厳しさを体感した」と回想する。

職人の腕だけでは商売は成り立たないと考え、町田商工会議所の創業スクールに飛び込んだ。「実践的にビジネスを学び、商品だけではなく経営もオリジナリティが大事だと実感した」と振り返る。

打ち出した独自性は「大人の店」。商品は安く仕上げるのではなく、大人の味覚を納得させる上質な素材にこだわった。「場所や価格はお客様の障壁になりかねないと感じましたが、そこを越えて来店して下さったお客様には感謝しかない。出逢ったことがない感動を与えたい」と情熱を注ぐ。



幸せと感動を贈る創作菓子

## 「大人の洋菓子店」で勝負



ショーケースの横で来店者を迎える山根さん

pâtisserie un cadeau  
パティスリー アンカド  
町田市原町田3-6-12  
☎042-851-7217  
午前11時～午後8時  
(休火曜)  
<https://uncadeau.info>



2階にはカフェを併設(中学生未満は利用不可)